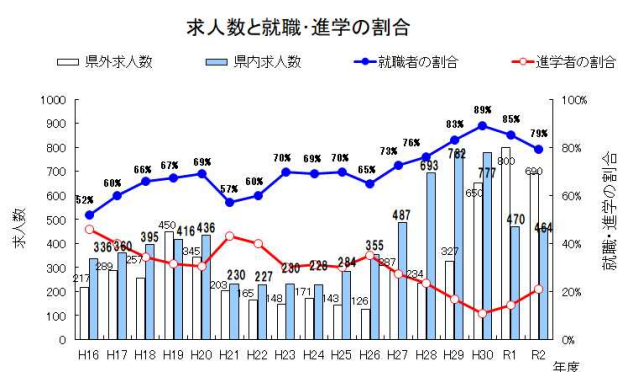


令和2年度「進路の状況」について 進路指導部

今年度の概況

新型コロナ関係で求人数は昨年度より減ってきています。企業としては優秀な生徒を採用したいが経済状況が不安定なこともあり採用が慎重となっています。それでも地元の企業から技術の継承等を考えての求人が多くなり生徒も応募し内定を頂きました。採用試験では面接を重視しているが適性試験がよくないと不採用になることが多いです

また卒業生の活躍があり本校生を採用し、現場を任せられる人材を育成したいと話をする企業も多かったです。



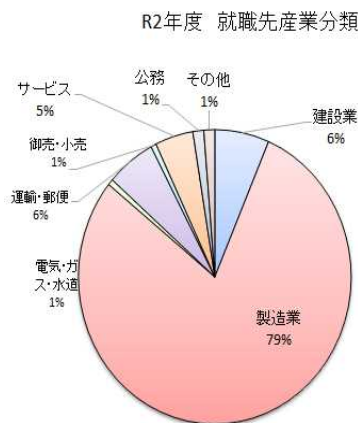
項目	科	機械	電気	電子	情報技術	合計
(1) 就職者数		67	35	32	21	155
		85.9%	87.5%	84.2%	53.8%	79.5%
	県内	53	28	27	19	127
	県外	13	5	5	2	25
	公務員	0	2	0	0	2
(2) 進学者数	縁故	0	0	0	0	0
	自営	1	0	0	0	1
		10	4	6	17	37
		12.8%	10.0%	15.8%	43.6%	19.0%
	4年制大学	1	3	3	4	11
(3) その他	短期大学	0	0	0	1	1
	職業訓練校	2	0	0	2	4
	専門学校等	7	1	3	10	21
		1	1	0	1	3
(4) 卒業生徒数		78	40	38	39	195

(1) 就職

卒業生195人のうち、民間就職希望者132名が内定し、公務員にも2名が合格し165名が仕事に就くことになりました。右側図は就職先産業分類別人数のグラフです。就職者の約80%が製造業に就きます。毎年鉄道関係に就職をする生徒が多かったですが今年は採用数を減らしたこともありかなり苦戦をしました。

昨年度より地元の企業に就職を希望する生徒が増えたこともあり、地域から本校生への信頼が引き続き維持されているものと感じます。入社試験で不合格になった生徒をみると基本的な問題や適性検査がよくない、面接で自己アピールがうまくできないが主な理由でした。

入学時から卒業後の進路は就職と決めている生徒も多く、今年度の就職率は約80%となり高い就職率となっています。



(2) 進学

大学進学者が12名、専門学校等への進学者が25名と約20%の生徒が進学をしています。進学先は工学系が過半数です。今年度はやはり新型コロナ関係で地元の大学・専門学校に進学が目立ちました。オープンキャンパスの実施が少なく進学先の情報が少なく志望校を決めるときには悩んだ生徒が多かった気がします。